

第7回そだつ部会会議録

日 時	2014年1月29日(水) 10:00~12:00
場 所	地域連携交流施設
出 席 者	古場、近野、水野、竹内、高津、安川、浅原、前田、政本、長倉、吉水、山口、
テ ー マ	1、今年度の振り返りと次年度に取り組む課題の検討 2、その他 3、次回開催日の調整
内 容	<p>1、今年度の振り返りと次年度に取り組む課題の検討</p> <p>▽平成25年度の協議課題と取り組み</p> <p>○「かけはし」書き方教室・交流会の継続と充実</p> <p><b>かけはし書き方教室</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かけはし書き方教室」6月：18名参加 12月：4名参加</li> <li>・12月の教室の参加者は少なかったが、内容は充実したものだった</li> </ul> <p><b>交流会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月26日(水)「自立にむけて」福祉会館にて</li> <li>・司会は、前田リーダー</li> <li>・当日 10:00~11:20 講演 11:20~11:30 質疑応答・アンケート記入</li> <li>・会場は12時まで予約してあるので、講演後は情報交換など可能である</li> </ul> <p>○「支援をつなぐ」取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月開催「播磨町の特別支援教育についてお話ししましょう」：16名参加</li> <li>・アンケートに「自立について知りたい」という意見があり、2月26日の「自立に向けて」の講演会につなげることができた</li> <li>・2月4日推進会議でも、紹介予定</li> </ul> <p>▽平成26年度に取り組む課題</p> <p>○「かけはし」書き方教室・交流会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に継続していくことが必要</li> <li>・開催月は今後固定されたほうが良い→25年度と同様6月・12月・2月(交流会)</li> <li>・「かけはし」をワード等で電子書き込みしたいと意見があった。</li> <li>・北播磨障害者(児)地域自立支援協議会のサポートノートはワード・PDFがあった。時期も就園前・学齢期・成年期など年齢ごとにダウンロードできる形が良いのではないか</li> <li>・データで渡すと、「かけはし」の書き方に統一性がなくオリジナルになり過ぎる問題もある</li> <li>・「書き方教室に参加したらワードのデータを渡す」等条件があったほうが良い</li> <li>・作成してから3年が経っているので「かけはし」の内容を追加・変更があるのではないか</li> </ul> <p>○「支援をつなぐ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も保護者向け講座は継続</li> <li>・年度当初に講座の内容を検討(福祉制度についてなど)→次回、部会で話し合う</li> <li>・前回の「播磨町の特別支援教育についてお話ししましょう」アンケートでは不登校の子への対応 / 集中力の改善 / 兄弟の関係 / はたらくことの情報(はたらくために家庭で意識すること)が知りたいと意見があった</li> </ul>

- ホームページ（以後 HP）について
  - ・記事の更新や掲載をいつごろするか検討が必要
  - ・HPの内容も各部会で検討が必要
  - ・自立支援協議会のホームページ作成を検討しているので、要望も聞きやすいのではない  
か
- くらす部会パンフレット
  - ・就学前の保護者向けパンフレット作成中
  - ・来年度は学齢期の保護者向けのパンフレットを作成予定。親の不安や先生の見解など、  
協力が必要←また必要に応じて関係者に協力を依頼する
- 障害福祉計画の見直し
  - ・障害福祉計画が3年に1度改正されるため、夏頃にワークショップを開催して意見を集  
約する予定。来年度末の改正に反映していく
  - ・障害者施策推進協議会委員を公募予定。公募する際は広報にも掲載されるが、行政から  
声掛けもする予定
- ユニバーサル交流会
  - ・毎年3月下旬に開催されている→今年は車いすサッカー（パープルスネークス）
  - ・子どもの参加も多く、車いすの体験あり。来年度は「そだつ部会」で一緒になにか催し  
物を提案できるようにしてはどうか
- 放課後や余暇活動の支援について
  - ・以前チームで検討していたが、チームメンバーである保護者の参加が難しくなったこと  
や放課後等デイサービスの普及によりニーズが変化している状況である
  - ・当初、福祉サービスを受給している人数が4～5人だったが、現在は50人を超えてい  
る
  - ・福祉サービス以外で地域とどうかかわるか、ワークショップ等でもう一度検討してはど  
うか
  - ・小学生の夏休みには「のびのびはりま」があるが、中高生では親のつながりや地域交流  
がなくなっている
  - ・中高生本人の気持ちを聞く場所がない
  - ・子どもの意見を聞く場（サポートが必要）が保障されていることが大切
  - ・自分の意見が言えない子は親の意見になりがちになる  
→意見がまとまるか心配があるが、「ゆっくり聞く」「意見を引き出して聞く」等のサ  
ポートが必要であるし、サポートを受けられる場がどの位補償されているかが問題
  - ・本人活動の余暇が多くあれば、経験が多くできる
  - ・親としては、目の届くところで遊んでほしいので自転車の練習も躊躇する
  - ・親が子どもとの接し方を知る機会になるので、自転車教室等を開催してはどうか
  - ・希望があれば、初めてのお使い体験を開催してはどうか
  - ・地活の人が買い物をしている姿を見たことがあり、そういった姿は地域への啓発にな  
ると思った
  - ・大手のスーパーや地域のお店は、申し込めば協力してくれる所がある→保護者がお店に  
お願いに行くことは地域への啓発になり良いことではないか
  - ・支援学級でも算数の時間に買い物の練習をしている
  - ・実際の経験がとても必要。楽しい経験は子や親にも継続しやすいのではないか
  - ・保護者が子に対する関わり方・接し方がわからない人が多い。多くの余暇活動などを通

して、専門の支援者に相談できる場があればいいと思う

- ・播磨町が行っているロードレースに障害のある子だけで走れる出場枠（伴走ボランティアや見守りするスタッフがいる等）があればいいと思う
- ・支援者がどこに支援をつなげていけばいいのかわからないので、システムがわかるようにしたら親の不安を軽減できる

### 3. その他

○はたらく部会 「はたらくみんなのお茶会」：平成25年12月25日開催：13名の参加

- ・クリスマス・お正月の過ごし方・仕事の年末年始の休みについて話し合った
- ・ケーキも用意し、ホイップクリーム等で飾り付けをした
- ・来年度も継続するかは、当事者から話が出て継続出来ればいいと思う
- ・就労している人が継続して就労していくために話し合ってお互いで支え合える場を作るのが目標

○全体会：平成26年2月4日（火）10:45～12:15 播磨町役場 ABC 会議室

「今、求められている障害者支援」

長野県北信越圏域障害者生活支援センター 福岡寿氏

○社会福祉協議会より自主字幕映画上映会のお知らせ

- ・上映映画「佐賀のがばいばあちゃん」

平成26年2月8日（土）午後13:30～16:00 しあわせセンター3階

- ・字幕は播磨町要約筆記の完全オリジナルで要約筆記活動の啓発で行っている
- ・ループアンテナ設置予定

○交流会「自立に向けて」講演会

- ・2月26日のかけはし書き方教室交流会は、お手伝いできる方は9時30分ごろに集合してください

### 4. 次回開催日の調整

今回は、平成26年3月5日（水）9:30～ 11:30

地域連携交流施設